

もっと②♥弘前!!

学生企画コーナー

地域密着! ビジネス合宿!

こんにちは、ひろ♥レポです。だんだんと風が冷たくなり、一段と秋らしさを感じるようになりました。秋といえば、食欲の秋・読書の秋・スポーツの秋などいろいろありますが、今年は青森県の良さを「考える」秋にしませんか? 今回、ひろ♥レポでは、8月24日から27日まで黒石市板温温泉郷で開催された青森県の地域資源を使ったビジネスを考える「考エル動キダスプロジェクト」へ参加してきました!



「考エル動キダスプロジェクト」とは、「青森県の地域資源を活かした」ビジネスを考えるという青森県庁が主催したプロジェクトの一つです。

参加者の条件は、「地域のことで何か気になる・こうしたら楽しそう」というアイデアがある大学生でした。このプロジェクトは「知る」「体験する」「考える」「伝える」の4部構成で企画され、考えるだけでなく、シャワーテック(川遊び)や黒石市名産こけしの絵付け体験などの「体験」をした上で、ビジネスについて考えるという内容でした。

参加した16人の大学生が【A班「観光」、B班「イベント」、C班「メディア」】の3つのグループに分かれて3泊4日朝も夜もなく作業をし続け、最終日は考えたビジネスを参加者全員の前で発表しました。

ひろ♥レポメンバーはそれぞれの班に分かれ、参加者として活動しました。今回はC班の提案について紹介します。



C班(メディア班)提案事業を Pick up!



C班では、『津軽男子と巡る青森の旅「津軽写真恋路」』という事業を考えました。ターゲットは、カメラ女子(カメラで写真を撮る女子)です。青森の名所と津軽男子(津軽の良さを良く知るイケメンナビゲーター)の写真を好きなだけ撮ってもらい、その写真を使ったビジネスを考えています。



後日、「津軽写真恋路」を考えた木村さんに参加動機や感想を伺いました。

←弘前大学人文学部3年 木村慎之介さん [C班]

みなさん、「メディア」という単語から連想するものは何ですか? テレビ、新聞、インターネットなどが代表的なものですね。C班では初めに『メディア=電子パネル』と捉えました。しかし、話し合いを進めていくうちに、「人はメディアに成り得る」ということに気づき、『メディア=人』と捉え直しました。津軽男子がカメラ女子に津軽の良さを伝えていく、またそのカメラ女子が友人・知人に津軽の良さを伝えていく、このように人から人へ情報を伝えていくことこそがこれからのメディアで重視されてくると考えました。

就職活動に活かせる経験を積みたという思いから、今回のプロジェクトに参加しました。サークルのイベントなどを考えることとは異なり、実現可能性など、さまざまな制約がある中で、人を納得させるような企画を考えることや、納得させるための伝え方を学びました。その中で、漠然と考えるのではなく、逆転の発想をしたり、1つのキーワードから新たなものを連想することで、自分のアイデアの整理の仕方を学ぶことができました。

編集後記

全グループのプレゼン発表後、サプライズのような形で、私たちが考えた『地域資源を活用したビジネス』が具体化されることを知らされました。今回はA班「観光」とC班「メディア」の2グループが企画を実行することが決定しました。考えたことが実際に企画として動きだし、また、それに学生である私たちが携わることはめったにない機会です。このような素晴らしいプロジェクトのこれからの期待して、ひろ♥レポでは、今回学生が考えたビジネスが実現するまでの過程を今後お伝えする予定です。ご期待ください!!

ひろ♥レポとは…若者目線で弘前のことを伝えようと発足された、広報ひろさきで学生企画コーナーを担当する女子大生グループです。問い合わせやご意見・ご感想はEメール(hiro.repo@gmail.com)で。Facebook(<http://www.facebook.com/hiro.reporters>)、Twitter(@HiroRepo)もやっています! 興味のある人はどうぞ(^*)



健康の掲示板

弘前市保健センター(野田2丁目) ☎37・3750



母子保健

母子健康手帳の持参を。場所は弘前市保健センター(各指定医療機関での個別健診を除く)で、料金は無料です。なお、発熱など体調不良の場合は、次回に受診してください。★は対象者に健康診査票を送付します。

名称	とき	対象・定員	申込先
乳幼児の健康診査	4か月児★ 7か月児★	各指定医療機関での個別健診	
	1歳6か月児	10月28日・29日/ 受付=午後0時半~1時半	平成26年4月生まれ
	3歳児	10月7日・8日/ 受付=午後0時半~1時半	平成24年3月生まれ
	1歳児歯科	10月21日・22日/ 受付=午後0時半~1時	平成26年10月生まれ
	2歳児歯科★	対象=平成25年4月生まれ…各指定歯科医療機関での個別健診	
離乳食教室	10月30日(金)、午後1時~2時半/受付=正午~午後0時50分	平成27年5月生まれ	10月5日~29日に、弘前市保健センターへ。
		離乳食講話・グループレッスン/ミニ講話(親子のふれあい、はじめての歯みがき)/身長・体重測定/育児相談 ※歯の相談希望者で歯ブラシを持っている場合は持参を。	



検診

市の各種検診は、年度内に1回受診できます。

名称	会場	とき	対象・定員	料金	問い合わせ・申込先
セット検診	医師会健診センター	通年10月13日~3月11日 ※女性限定日は問い合わせを。	40歳以上の市民(職場で受診できる人を除く) ※女性限定日は問い合わせを。 ※定員になり次第締切。		弘前市医師会健診センター検診課(☎フリーダイヤル0120・050・489、平日…午前9時~午後4時(正午~午後1時を除く))へ。
胃・肺・大腸がん検診		50歳以上は前立腺がん検診も受診可(別途500円)	1,900円(市の国保加入者は950円、70歳以上の人は無料)		
複合健診	ヒロロ	10月17日、11月7日・21日	40歳以上の市民(職場で受診できる人を除く) ※特定健診および後期高齢者健診とがん検診セットの場合のみ受診可。定員になり次第締切。		受診希望日の1週間前までに、健康づくり推進課(弘前市保健センター内、土・日曜日、祝日を除く午前8時半~午後5時)へ。 ※複合健診は、申込人数が10人に達しない場合、受診日の変更をお願いすることがあります。
特定健診・後期高齢者健診(無料)		胃・肺・大腸がん検診(50歳以上は前立腺がん検診も受診可(別途500円))	1,900円(市の国保加入者は950円、70歳以上の人は無料)		
女性の健康診査	医師会健診センター	10月13日・21日・29日、11月4日・10日 ※10月29日は託児あり(乳幼児10人まで)。10月21日、11月4日は女性限定。 ※定員になり次第締切。	18歳~39歳の主婦や自営業の女性(職場で受診できる人、妊娠中やその疑いのある人などを除く)	800円	血液検査、尿検査、内科診察、骨密度検査など
巡回子宮がん乳がん検診					子宮がん・乳がん検診は、市内各所へ巡回するバスで受診できます。詳細は「健康と福祉ごよみ」で確認するか、健康づくり推進課へお問い合わせください(対象者には個人通知)。
医療機関での検診					胃・大腸・前立腺・子宮・乳がん検診、骨密度検診、結核検診は、医療機関でも受診できます。直接、「市の検診」と伝えて問い合わせを。詳細は「健康と福祉ごよみ」で確認するか、健康づくり推進課へお問い合わせください。なお、乳がん検診は、国の指針に基づき対象年齢を見直し、対象は40歳以上の人です。



定期予防接種

【麻しん風しん混合・2種混合・B C G・日本脳炎・不活化ポリオ・4種混合・ヒブ・小児肺炎球菌・水痘・子宮頸がん予防ワクチン】

通年接種です。接種年齢から外れると有料になりますので、ご注意ください。接種を受ける際は、あらかじめ指定医療機関に確認の上、母子健康手帳と予診票を持参してください。なお、子宮頸がん予防ワクチンの接種については、現在、積極的に勧めていませんが、接種を希望する場合は、有効性とリスクを理解した上で接種してください。最新の情報は県庁ホームページ(https://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/hpv_vaccine_sasihikae.html)でご確認ください。

対象者で予診票を持っていない人には弘前市保健センターで配布しています。

【高齢者肺炎球菌ワクチン】

▽実施期間 平成28年3月31日まで

▽対象 平成28年3月31日までに65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳になる人/本年度60歳から64歳の人で、心臓・腎臓・呼吸器の機能に障がいのある人および免疫機能に障がいがある人で、身体障害者手帳1級程度の障がいのある人
※すでに23価肺炎球菌ワクチンの接種を受けた人は対象外。

▽費用 5,000円(自己負担)

※生活保護受給者は無料。

【小児インフルエンザワクチン】

未就学児を対象に、インフルエンザ予防接種の2回接種のうち、1回分の接種費用を助成します。対象者には助成券を送付しますが、再発行はしませんので、接種時まで大切に保管してください。

▽実施期間 10月1日~平成28年1月31日

※予防接種の際は助成券と母子手帳を必ず医療機関に持参してください。

